



暁星小学校、国立学園、西武文理合格のご父兄様からのお便り

私共が、うさぎ会に入会しましたきっかけは、幼稚園受験に失敗し「落ちた理由を知りたい」「どうすればよかったのか？」を自分の中で納得させたい、という一心からでした。丁度、幼稚園前のプレスクールで一緒したお友達が「うさぎ会に通い、幼稚園受験に成功した」ということを知り、色々とお話をお聞きするうちに、自分達の考えの甘さに気づくと共に、実際にどうすればよかったのかをぜひ、うさぎ会で学ばせて頂きたい、という思いが強くなっていきました。さっそく体験を申し込み、じかにうさぎ先生とお話をした時「落ちたことが財産になります」というお言葉を頂き、落ち込んでいた気分がパッと切り替わった事が今鮮明に蘇ります。この”落ちた事が財産になる”という言葉は、後に幾度もくじけそうになった時、痛い程何度もかみ締め、大きな励ましとなる事をその時は気がつきませんでした。更に深く、うさぎ先生に学ばせて頂く中で「私立の幼稚園、小学校に子供を通わせるということはどういうことか？」その志の高さ、高みを目指していく意識の差に愕然とし、特に神奈川県で公立でのんびりと育った私にとり、先ずは「意識改革」からのスタートになりました。意識が変わってきますと、おのずと生活そのものが変化し始め、それは家族一丸となって、この小学校受験に挑んでいくんだ、という体制につながりました。うさぎ先生にそのように導いて頂いたことは、大手の塾でただ”できる、できない”で判断してしまう環境とは一線を画するものであると思います。気がつくと、息子本人が「もっとやりたい、もっとうさぎさんと勉強したい」とうさぎ会のとりこになっており、あれ程私と家で二人でやらなかった息子が”やる気”になっていることに驚かされました。私共の通っていた大手では、できないと厳しい口調で母子共に怒られ、たとえ息子自身は怒られていなくても、その雰囲気の影響を受け、母子共々モチベーションが落ち、それに比例して成績も下がってしまう、という事がよくありました。年中の11月から、数々の山や谷を乗り越え、うさぎ会で順調に伸びていた息子も、肝心な年長の夏休みに、大手の講習会で急に厳しくなったのを機に、一時ひどく落ち込んだことがありました。しかし、その時もうさぎ先生に”勉強も大切だけれどもそれにも増してお試験までに子供のモチベーションをうまく上げていくことの大切さ”を教えて頂き、その子の伸びる時期、成績が下がっても又上がっていく波があることなど、息子の様子を見ながら、きめ細かく対応して頂いたことにより、本番に向けての心構えが次第に敷く磐石になっていきました。また一緒にお勉強したお友達にも恵まれ、お友達と競うこと、時には悔し涙を流しながらも、共に喜び、励まし合いながら勉強する楽しさを、目標を持って成し遂げていく素晴らしさを学ばせて頂いたことは、お受験という枠を超えて何物にも代えがたい貴重な体験となったと思います。親の方が精神的にきつくなり「もうやめようか」とこぼした時も「絶対にやめない、うさぎさんなら500時間でもやる」と言い放った息子の気迫に驚かされると同時に、ひとつの人格としても自立をはじめているのだということを感じながら、そこまでに成長させて頂けたことに涙が出ました。いよいよ受験直前になり、親の方が緊張する中、うさぎ会のお教室にお迎えにいくと子供たちの楽しそうな声があふれてきて、何やら「これなら大丈夫」と思えたことは不思議でした。実際、質、量、共にどこにもひけをとらない、うさぎ会の問題を相当量こなし、幼稚園受験のときの失敗を二度とするまいと、願書、面接指導も、納得いくまでとことんやって頂いたおかげで、当日はあれも言いたい、これも言いたいと、頭が一杯になる程でした。幼稚園受験のときの何を喋ればいいのかと途方に暮れた時とのギャップに自ら驚きを隠せませんでした。お試験がはじまると、「がんばってくる」と一回りも二回りも大きく見える、背中を眺めながら、実際3校の学校にご縁を頂き、第一志望の暁星小学校に合格を頂いた時は家族3人で肩を組んで飛び上がってしまいました。一緒に学んだお友達も、同級生になることができたこと、白百合、学習院、光塩等、難関校に次々合格されましたことはこの上ない喜びとなりました。うさぎ会に入会し、うさぎ先生に出会い、素晴らしい仲間と共に、夢を実現にして頂きましたことに、心より感謝いたします。うさぎ先生、本当にありがとうございました。

